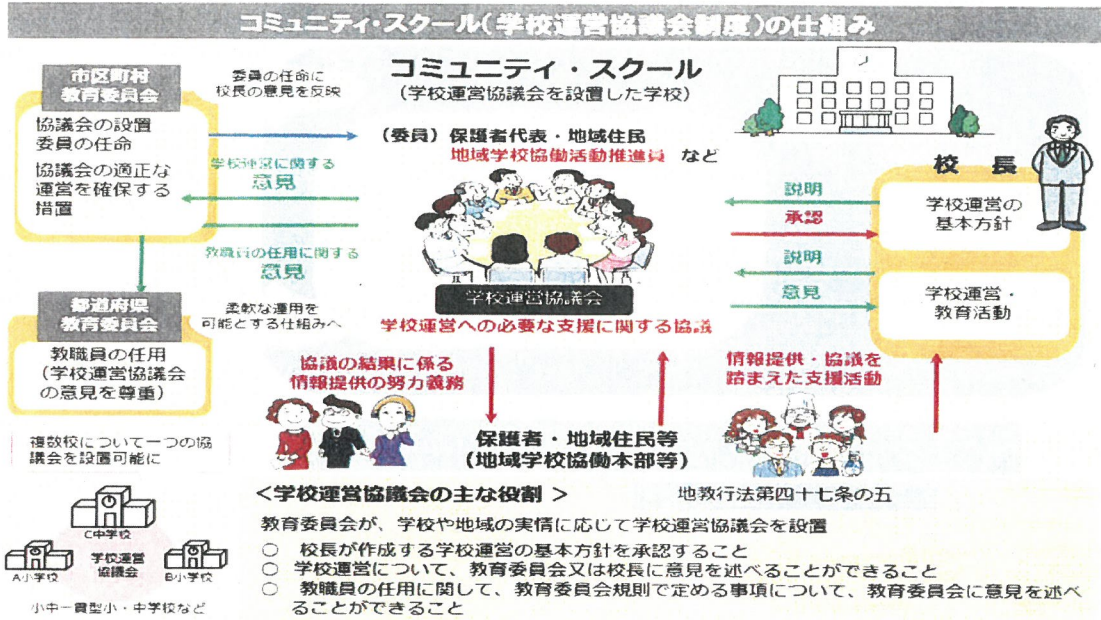


この春から五十崎地区で始まったコミュニティスクールってご存じですか？  
文部科学省が進めている「地域とともにある学校づくり」。  
学校が地域住民や保護者と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちをはぐくんでいこうという制度のことです。



内子町では昨年度から小田地区でコミュニティスクール（以下コミスク）の取り組みが始まり、令和2年度からはここ五十崎地区でもいよいよ開始となりました。とはいえ新型コロナ対策の影響でなかなか進まず、やっと6月から本格的に指導し始めたところです。五十崎地区の各学校にそれぞれ地域コーディネーターが一名配置されております。

自己紹介が遅れましたが、ワタクシこの春より天神小学校の地域コーディネーターとなりました小野里枝美です。主な仕事は学校と地域をつなぐこと。地域の方々にもっと学校と関わっていただきたく活動していきたいと思っております。まだまだ手探りで思うような活動はできておりませんが、これからどんどん学校に地域の“物知り”さんに来ていただきたい!!と企んでいるところです。もちろん保護者の皆様にもこれまで以上に学校に興味をもってもらうべくその都度お知らせしてまいりますのでどうぞ皆様、よろしくお願いいたします。また、各方面に詳しい地域の方を現在探索中です。情報よろしくおねがいします！

活動第一弾として7月10日に6年生とともに「天神産紙」さんにお邪魔してきました。大洲和紙の製作工程見学です。五十崎自慢の風にも使われ、歴史的にも献上品として一級品の大洲和紙。6年生の卒業証書は自分で漉いた和紙を使うこともあって、みんな興味をもって見学することができました。



今週はこの後、畑の野菜についてのお話（支援学級）や、水道施設見学（4年生）、小田川の水生生物調べ（5年生）と盛りだくさんの計画です。調整も一気に忙しくなっております。またご報告いたしますのでVol.2発行までしばらくお待ちくださいね。